



グランプリに輝いた山城常一さん：写真中央

藤田まさと先生の功績をたたえる

■第24回藤田まさと先生を偲ぶ歌の祭典

藤田まさと先生を偲ぶ歌の祭典が11月8日、い〜らで開催されました。

「岸壁の母」「浪花節だよ人生は」などのヒット曲を作詞した、本市細江出身の藤田まさと先生の功績をたたえる催しで、市内外の20から80歳代の72人が参加しました。

グランプリには、「冬隣」を歌った山城常一さん(御前崎市)が輝き、「念願のタイトルを手に入れました。これを機にさらに挑戦していきたいと思えます」と喜びを話しました。

梅太郎博士ゆかりの地を巡る

■第4回牧之原市ビタミンウォークin地頭方

ビタミンを発見した鈴木梅太郎博士のふる里を歩く「ビタミンウォークin地頭方」が11月1日、地頭方地区で開かれました。

小雨が降る中、市内外から150人ほどが参加しました。エンジョイ(6キロメートル)とビタミン(15キロメートル)の2コースで、市指定文化財の鈴木梅太郎博士のお墓や軽便鉄道の駅跡、地域に伝わる民話の地などを巡りました。

参加者は、「博士のふる里を歩き、歴史や自然にも触れられてうれしかった」と話しました。



小雨が降る中、元気にスタートする参加者

勇壮に御船を練り歩く

■鹿島神社の御船神事

市指定無形民俗文化財の「鹿島神社の御船神事」が、11月2日に行われました。

鹿島神社(川崎)の例祭で、海上安全を祈って行われる神事は、江戸時代後期から続いています。

青年たちは、菱垣廻船の模型を担ぎ御船歌に合わせて、威勢よく荒波を航海する様子を表現します。

青年たちに担がれた御船が勢い良く練り歩き始めると、集まった人たちは大きな歓声をあげていました。



荒波を航海する様子を表現する青年たち



たくさんの力作を鑑賞する来場者

芸術の秋を満喫

■第9回牧之原市文化祭

第9回市文化祭が11月1日と2日、静波体育館や榛原文化センターなどで開かれました。

作品展の会場には、市内の幼稚園や保育園、小中学校、高校などから出展された絵画や書写などの作品が並びました。文化協会による華道や手芸、絵画、俳句、短歌などのほか、一般作品として写真や彫刻なども展示され、日ごろの活動の成果が披露されました。

その他、茶会や囲碁将棋大会、お茶の手もみ実演なども行われ、来場者は芸術の秋を満喫しました。



写真を見て昔のまちの光景を懐かしむ来場者

古写真でみるまちの移り変わり

■市史料館特別展「なつかしの写真展」

市史料館特別展「なつかしの写真展」が11月23日から12月7日まで、市史料館で開催されました。

会場には、個人や史料館などが保管している明治時代から現在に至るまでの写真約200点が並び、来場者は心に残る景色や思い出の詰まった時代を振り返りました。

開業されたばかりの牧之原台地の大茶園や明治時代後期に最盛期を迎えた相良油田、海岸に広がる塩田風景、地域の足として親しまれた軽便鉄道「藤相線」など、地域の歴史を知るうえで貴重な史料も多く展示されました。

来場者は、「昔を思い出して懐かしい気持ちになった。まちの移り変わりがよく分かった」と満足そうに話しました。

伝統を引き継ぎ未来に向かって

■相良中学校統合40周年記念

相良中学校と萩間中学校の統合40周年記念式典が11月1日、相良中学校で行われました。

式典では校長先生のあいさつの後、3年生の増田伊織さん(波津)が、「下級生のお手本となり、伝統を引き継げるよう、一日一日を大切に生活していきたい」と、生徒を代表して未来に向けた抱負を述べました。

特別講演も行われ、義足のランナーの島袋勉さんが、生徒たちに夢や希望を持ち、それに向かってあきらめないことの大切さを伝えました。



生徒代表の言葉を述べる増田さん



喜びを市長に報告する萩間小学校の先生と児童

学校保健の向上を実現

■萩間小学校「学校保健文部科学大臣表彰」受賞

平成26年度学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰を受賞した萩間小学校の先生と児童が11月18日、市長に受賞を報告しました。

学校では、学校と家庭で歯みがきの習慣化を意識付ける取り組みを行い、児童の歯の健康を大きく改善しました。リズム縄跳びなどによる健康づくり活動も認められて、今回の受賞となりました。

6年生の杉田龍介さん(中里)は、「これからも歯みがきをしっかりとるように、みんなに呼びかけたい」と話してくれました。

ズームイン！
カシャ！！



広報担当がどこにでも取材に行きます。
あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp